

オープンキャンパス 2018 Q&A

オープンキャンパスの「相談コーナー」で質問の多い項目を抜粋しています。

《全体》

Q: 推薦入試の受験に必要な条件は何ですか？

A: 「平成 31(2019)年度 入学者選抜要項」の P6～P7、「平成 31(2019)年度 学生募集要項 推薦入試」であれば、P1～P5 に各学科の出願資格を記しています。ご不明な点があれば、入学試験実施本部にお問い合わせください。

Q: 推薦入試の対策について

A: 小論文については、新聞の社説や書籍の文章等を、一定の時間制限の下で熟読し、その要旨を一定字数以内にまとめる練習を繰り返し行うことが大切です。また、自身で執筆した論文を先生に添削してもらい、客観的な評価を受けることも大切です。併せて、過去問題を見てあらかじめ出題形式や傾向をつかんでおくといいでしょう。面接については、内容は非公表です。ただし、一般的な受け答えの対策は行っておいたほうが良いでしょう。

Q: 大学卒業後の進路について、高校生のうちから考えておくべきでしょうか？

A: 希望する進路によっては早期からの取り組みが必要な資格や試験などもあるため、早めに将来の進路を考えておくことは悪いことではありません。しかし大学生活の中で新たな可能性を模索し、チャレンジする学生もいます。

Q: 大学で学んだ知識を就職対策等につなげることはできますか？

A: 分野によっては一部関連するものもありますが、必ずしもすべての知識が就職の対策に直結するわけではありません。しかしながら大学で学んだ内容が、就職活動だけでなく実際に社会で働く上で活用できる部分もあるため、しっかり大学でその知識を身につけることが大切です。

Q: 大学で下宿先を斡旋していますか？

A: 斡旋は行なっておりません。ただし、民間経営の下宿・アパート・ワンルームマンション等の下宿の資料を 11 月下旬から本学に設置予定です。また、入学試験の合格通知とともに、下宿等の情報紹介先を掲載した用紙をお送りします。

Q: 寮について教えてください

A: 大学周辺に約 40 軒の寮があります(全て民間経営)。家賃は市街地で一人暮らしをするよりも比較的安価です。まかない付きの寮は食事の心配をする必要はありません。また、ほとんどの寮は大学まで徒歩 10 分以内と、アクセスは非常に良好です。

Q: アルバイトはどうやって探しましたか？

A: 大学が学生を対象にアルバイト情報を掲示して紹介しています。また、インターネット等でアルバイト先を個人で探す学生もいます。

Q: 奨学金について教えてください

A: 種類によって様々です。本学学生でも奨学金を利用している学生は多数います。詳細については大学案内の P9 をご参照ください。

Q:クラブ・サークルについて

A:ほとんどの学生がクラブ・サークルに在籍しています。本学は運動系から文化系までバラエティーに富んだクラブ・サークルがあります。また同好の有志を募って同好会を立ち上げることも可能です。詳細は大学案内 P13～P15 をご覧ください。

Q:部活やサークルとアルバイトの両立は出来ますか？

A:時間を上手にやり繰りすれば十分可能です。学業、部活、アルバイトとバランスよく取り組んでいる学生は多数います。

Q:バスの便は多いですか？

A:多いです。授業期間中であれば、尾道駅から大学までのバスは、朝の8時台であれば、6本あります。

Q:一人暮らしは大変ですか？

A:炊事や掃除、洗濯など自分でこなさなければならないため、大変です。しかし、自立した生活を送ることができ、自己管理能力を養うことができた、という学生もいるようです。

Q:通学手段について

A:自転車、バイク、スクーター、徒歩など、学生によってさまざまです(自動車での通学は原則禁止です。)。市街地から通学する学生はスクーターを利用するケースが多いです。

《経済情報学科》

Q: 必携パソコンについて

A: 経済情報学科では必修科目や演習科目等で使用するため、全員にノートパソコンを携行していただくこととしております。パソコンについては大学で斡旋したものを購入いただいても構いませんし、条件を満たせば既にお持ちのものをご利用いただくことも可能です。詳細はホームページの「必携ノート型パソコンについて」http://www.onomichi-u.ac.jp/campus_life/pc/ を参照してください。

Q: 資格取得について

A: 高等学校教諭一種免許の「商業」と「情報」を取得することができます。

その他、簿記・税理士・中小企業診断士、情報系の資格・公務員試験など関連資格試験に精通している教員もおり、試験についての相談が可能です。また、簿記や情報系の資格を在学中に取得する方は多数います。

Q: 経済情報学部の特徴について

A: 経済・経営・情報の3分野をバランスよく学ぶことができるのが特色です。3年次よりこれらの分野から専攻分野を選択し、それぞれの分野の研究を深めていきます。

Q: この学科を選択してよかったことを教えてください。

A: 社会情勢(特に経済に関する)などを身近に感じることができます。講義の中でパソコンを使う機会も多く、ITスキルを向上させることができます。また、希望者を対象としたアメリカ、中国、台湾、オーストラリア、ベトナムへの短期語学留学制度があり、現地で語学の研修、異文化体験を行うことができます。

Q: 数学が苦手なのですが、授業についていくことができますか？

A: 経済情報学科では数学の知識を用いるケースが多く、大学で専門知識を学ぶ上で、高校卒業程度の知識は必要です。ただし、高校数学の復習から学べる講義もあり、数学が苦手な方でも無理なく学力を養成できます。

Q: 一般入試は何を重点的に勉強すべきですか？

A: センター試験では、前期日程、後期日程ともに国語、数学、外国語が必須となっており、かつ、配点も高いため重点的な対策が必要です。また、個別学力検査では前期日程では数学と英語、後期日程では数学または英語が課されるため、これらの対策を行っておくことが必要になるでしょう。詳細は「入学者選抜要項」をご覧ください。

《日本文学科》

Q:日本文学科の就職状況について

A:学生の就職先として比較的人気のある出版社や広告業、比較的難関である教員や司書を志望する学生が多いです。志望進路の対策を早期から積極的に行い、近年は就職内定率も高いものとなっています。

Q:司書の資格は取得できますか？

A:本学では司書資格を得るために必要な授業は開講しておりません。司書資格を希望する学生は、通信教育あるいは他大学の夏季講座などを利用しています。これらの案内は学内でしております。

Q:国語の教員免許は取得できますか？

A:可能です。所定の課程を修め、申請の後、中学・高校の国語の第一種教員免許が取得できます。また、同様に所定の課程を修めることで学芸員の資格も取得できます。ただし、実際に公立(市立)の正規の教員や学芸員として働くには公務員試験(教員採用試験)に合格しなければなりません。

Q:就職先について教えてください

A:就職先については様々です。民間企業であれば卸、小売業だけでなく、出版業や教育支援業などに進まれる方が比較的多いです。また公務員や教員志望者も比較的多いのが特徴です。

Q:本はたくさん読まなければいけないのでしょうか？

A:入学後の学習においても本を読むことは日本文学科の学生の基本です。様々なジャンルや時代の本を読んでください。

Q:一般入試は何を重点的に勉強すべきですか？

A:センター試験では国語と外国語(英語)のウェイトが高く、個別学力検査では国語が課されます。よって国語が最重要科目、次に英語でしょう。他科目はセンター試験の対策をしっかりと行い得点に結びつけることが大事です。なお、個別学力検査(国語)では記述式の問題が多く出されます。こちらの対策もお忘れなく。

《美術学科》

Q:尾道市立大学の美術学科の特長について

A:美術学科は日本画、油画、デザインの各コース制になっていますが、1年生の間は各分野に分けることはせずに、さまざまな分野の実習や演習を総合的に体験、経験することができる場所です。そこで新たな可能性を見つけ、その後のコースごとの実習にその経験を活かすことができます。

Q:資格取得について

A:所定の課程を修め、申請の後、中学・高校の美術の第一種教員免許が取得できます。また、同様に所定の課程を修めることで学芸員の資格も取得できます。ただし、実際に公立(市立)の正規の教員や学芸員として働くには公務員試験(教員採用試験)に合格しなければなりません。

Q:古美術研究演習について

A:3年次に指定された研修先へ各コースに分かれて実施します。日本画・デザインコースが京都・奈良、油画コースがイタリア・フランスに行く予定です。費用はその年の行き先にもよりますが、約20万円～40万円程度です。

Q:大学内で画材は買えますか？

A:大学内のコンビニエンスストアの隣に画材屋があり、そこで購入できます。また駅近くの画材屋や通信販売などを利用する学生もいます。

Q:2年次からのコースの選択はどのような基準で決めているのですか？

A:本人の希望と、教員との面談によって最終的にコースを決定します。高校の時から得意分野でコースを選択する学生もいれば、1年次の実習を終えて、興味のあるものや楽しかった分野を選択する学生もいます。実際、大学に入ってから日本画や油画を始めた学生もいます。

Q:絵を描ける時間は何時までですか？

A:実習は火曜日～金曜日の13:10～18:00まで、延長届を出せば20:00までアトリエを使用することができます。あとは講義の入っていない時間に描いています。原則土日は開いていません。

Q:入試の対策として何を頑張ればよいですか？

A:とにかく実技の対策を毎日欠かさず行うようにしてください。

《その他》

その他の質問として、受験の対策、生活費、アルバイト、近隣の病院、通学方法、一人暮らしについてなど、さまざまな質問がありますが、ケースにより回答が異なります。詳しくは尾道市立大学へお問い合わせください。(入試に関しては、非公表の為お答えできない内容もありますので、予めご了承ください。)